

いあいさつ 市田博 新議長



市田博議長

市民の皆様には、日頃から市政の発展と議会活動に対し、ご理解とご協力をいただき、心からお礼申し上げます。このたび議長に就任いたしました。身に余る光榮であるとともに、功績多大でありました故上田登前議長のあとを受けることに、その責任の重さを痛感しております。もとより微力の私であります。が、市民の皆様の声が、市政に反映できるよう、誠心誠意努力してまいります。

さて、東日本大震災の傷跡は、肉親を失われた方々の悲しみや、住み慣れた街の再建がなかなか進まないなど、心が癒えない現実に対し、一日も早い復興をお祈りいたします。

本市としましては、これを機に、いつ起こるかわからない災害に対する安全部門への取り組み、また再生可能エネルギーへの期待などに注目しながら、一方では、今までにも増して対応が求められる超少子高齢化に対する社会問題など、行政需要がさらに複雑・多様化していることに取り組まなければなりません。

併せて、国から地方へす。

このことは私たちの議会におきましても、市民が市政に積極的に反映していくこと、これが、行政の監視機能として、さらに重要な位置を占めています。今後においても、本市の財政状況は樂觀できるものではありません。新たな財源確保に向けた努力と、市民福祉の増進のため、限りある財源を有効に、かつ最大限の効果を得られる施策となるよう、議会として、厳正公平な目で、行政と緊張感を持ちながら、綿密な連携を図り、市政の発展と効率的で円滑な議会運営に努めてまいります。

そして、故上田登議長の思いであった、議会の新しい改革の意志を引き継ぎ、ぐるぐる取り組んでまいりたいと考えております。今後とも市民の皆様方には、なお一層ご指導とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げ、就任のあいさつといたしま

13日に委員会を開会し、付託された請願、議案、補正予算の審査、そして所管事務調査を行いました。

請願審査

◆大飯原発の断層調査は稼働を一旦停止して行うことを求める意見書の提出を要望する請願

【賛成多数・採択】 京都府知事は、徹底的に調査をしてほしいと、言っているが、安全を確保してと言っている。専門家があらゆる角度から検証されており、止められるかどうかは専門家が決められることが思うが。

【賛成多数・可決】 新たに企画政策部を設置し、政策調整や総合企画機能を生かしたまちづくりのための体制整備や安心まちづくりを防災・防犯機能を特化し、安全・安心な暮らしの創造をさらに進め、建設部に交通政策部門を編入し、誰もが快適な都市生活のためのまちづくりを行うなど

所管事務調査

◆普賢寺地域の振興

【賛成多数・可決】 普賢寺地域は農業問題だけでなく、人口をどのように維持していくかにも取り組む必要があると考えるが。

【賛成多数・可決】 副市長 いかに地域に定着していただけるかも視野に入れながら、地域の方々の意向も伺いながら、方向性を考えていきたい。

◆教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

【賛成少数・否決】 学級でなく、本市は30人程度(35人から25人)の学級で非常によく考えられた取り組みと思う。給食食材の放射線量測定は今後も取り組むと市は言っている。図書館司書は、

請願審査

◆災害時相互応援協定と友好都市提携

【賛成多数・可決】 先に鹿児島県霧島市と災害時相互応援協定を結んだが、友好都市提携として議会の議決が必要なのではないか。

【賛成多数・可決】 副市長 友好都市提携の条例化は、今後の提携の方法として、条例で定めたもの。個別の行政事務の協定が友好都市を前提にするならば、条例に定めたもの。個別の行政事務の協定が友好都市を前提するが、霧島市との場合は、災害時相互応援協定という個別の協定となつた。このこと

議案審査

◆介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

【賛成多数・可決】 地域主権改革に係る介護保険法の改正に伴い、地域指定密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定

◆介護保険法に基づく指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に関する入所定員等に関する条例の制定

【賛成多数・可決】 介護サービスの基盤強化のため、地域指定密着型介護予防サービスに係る指定に関する基準等を定めるもの。

所管事務調査

◆図書館の図書購入

【賛成多数・可決】 図書館図書の購入は、リクエスト本として利用者からの要望に応えている。決して希望者だけではなく、何回も利用されている記録がある。

◆パーソナルサポート

【賛成多数・可決】 生活に困っている

◆介護保険法に基づく指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に関する入所定員等に関する条例の制定

【賛成多数・可決】 介護サービスの基盤強化のため、地域指定密着型介護予防サービスに係る指定に関する基準等を定めるもの。

おこやみ 故上田登議長

故上田登議長が、去る平成24年11月24日に心不全により逝去されました。78歳でした。

故上田登氏は、昭和58年4月に当時の田辺町議会議員として初当選され、京田辺市へと市制施行後も議員として通算6期24年と7期目の在職中でした。

この間、数々の常任委員長、特別委員長を歴任され、

さらに4度の議長を務めておられました。

これまでのご労苦に感謝いたしますとともに、謹んで、ご冥福をお祈りいたします。

（前頁からの続き）

そして、このことを受け、採決のあと議員から、「大飯原発稼働を一日停止し、敷地内の徹底した断層調査を求める意見書」

と権限移譲を進める地域主権改革は、行政としての二つを的確に感じ取り、そのための適切な施策を、市政に積極的に反映していくことにもなっています。

このことは私たちの議会におきましても、市民が市政に積極的に反映していくこと、これが、行政の監視機能として、さらに重要な位置を占めています。

このことは私たちの議会におきましても、市民が市政に積極的に反映していくこと、これが、行政の監視機能として、さらに重要な位置を占めています。</p